

令和元年度 第3回米子市廃棄物減量等推進審議会 議事録概要

- 1 日 時 令和元年6月3日（月）午後2時～午後2時30分
- 2 開催場所 米子市役所5階 議会第2会議室
- 3 出席者（敬称略）
米子市廃棄物減量等推進審議会委員 13名
飯塚委員（会長）、岡本委員（副会長）、小川委員、上田委員、大江委員、大櫃委員、熊谷委員、伊坂委員、中田委員、中村委員、福景委員、矢末委員、植田委員
（桂藤委員は欠席）
- 4 議 題
家庭廃棄物の処理手数料の額について
- 5 会議公開 公開
- 6 傍聴者数 3名
- 7 資料
答申案 家庭廃棄物の処理手数料の額について
審議経過及び答申に至った経緯
- 8 議事録概要

会長：「答申案」と「審議経過及び答申に至った経緯」につきましては、あらかじめ皆様に送付させていただいております。これにつきましては、皆様からご意見、ご質問がありましたらお願いします。

委員：答申案の附帯事項の2で、「しかるべき時期には処理手数料の額について検討されたい。」とあるが、5年後に見直し等決っていないのでこういった書き方になっているのか。

米子市：特に何年後と決まっておりませんので、こういう表現になっています。

米子市：審議の経過の中で、令和14年度に新たな最終処分場と中間処理場ができるとなると、経費等の見込みも変わってくるのではないかということで、また、いろんな経費等が変わればその時の条件でという意味で、しかるべき時という表現です。

会長：令和14年度というのは、新しい施設が稼働する時ですね。その前に計画等を作って審議させていただいて建設をしてとなると何年か前ですね。

米子市：実際に建設費のほうはごみ袋代には反映しませんので、運搬処理に係る経費の見込みを立てさせていただいた上で、ご審議いただくことになると思います。

委員：答申案の附帯事項の1については、官民一体となって、ごみの減量に努める、ということで、また、ごみの減量について、市から市民に情報とか手法とかを発信し活動を活発にさせていただくということで、これに関してはいいと思います。

2についてですね、この審議の過程の中で、米子市の全体の財政状況、それからやはり一番大きな、焼却施設の老朽化、それとごみ処理経費の推移の勘案、こういった文言をここに追加してはどうかということを感じました。以上です。

米子市：まず新しい施設については次回は市単独ではなく、西部広域行政管理組合で建設していくということで、今回は共同で造る部分についてはどうかということ、外させてもらいました。

会長：よろしいでしょうか。まだいろいろと不確定な要素も多いです。

委員：送ってもらった資料の中で、書式についてはこれで賛成です。

あとごみ処理経費の費用が、今までの会議の中で、新しい設備の経費は入らないとすると、ごみ収集業務の経費が一番かかっていると思いますが、これについては町内でいかに効率的に集められるか、という検討も我々もアンケートに答えていますし、そこら辺の取り組みともう一つは高齢者のなかなか時間的にも体力的にもごみを持ち出すのが困難になってくるといった問題についての対応も含めた検討を早急にしてもらいたい。

この答申については、読ませてもらって未確定部分がまだたくさんあるということで、これはこうです、これはこうですではなしに、推移を勘案しながらという言葉の中に全て含まれてくるんじゃないかなという風に思います。以上です。

会長：委員はこの答申でよろしいということによいですか。

委員：はい。

会長：今、これ収集システムの合理化とか、高齢者化社会に対応したシステムの提案を今後も検討してほしいということで、せっかくのご意見ですから、これからシステムを合理化していくというといえますか、経費を節減していく、人件費を減らしてい

くという考えはありますか。

米子市：ご指摘のありました件につきましては、まずはごみのステーション化は進めていかなければならないと承知していますし、ごみを出されるのが困難な方の対応についてもこれから大きな課題だと認識しておりますので、これから研究を進めていきたいと考えています。

会長：ほかにご意見、ご質問等ありますでしょうか。

委員：(意見なし。)

会長：それでは、あらかじめお配りした答申案のとおり答申したいと思いますがいかがでしょうか。

委員：(「異議なし」の声あり)

会長：ありがとうございます。それでは、市長のおられるときに答申書をお渡ししたいと思います。そういたしますと4回にわたりましてご審議いただき、この答申をまとめることができました。

本日はどうもありがとうございました。